

リレーメッセージ第2回

西尾康英氏（北高 27 期/理数科 6 期）

理数科から医学部に進みましたが、理系より文系の科目のほうが好きでした。当時の北高には兼折校長の下、国語、英語、社会科に良い先生がおられたこともあり、選択で世界史のクラスを取りましたが友人からノートを借りて日本史を、仏語や独語を NHK ラジオで独学するなど、受験勉強には関係ない科目ばかり勉強していました。父方祖母の実家が書店を営む天神町の漢学者であった DNA にもよるのでしょう。医学部に進み医師になってからも、生老病死の背景にある目に見えない運命を操る力を知るべく、真言宗系の寺で研鑽し 10 年がかりで教師資格を取得しました。そんなわけでアマチュアの歴史家や市井の僧職よりは、正しい神仏の知識があると自認しています。



真言密教の強みは、曼荼羅に象徴される神仏のランク付けと性格を明確に教えてくれることです。曼荼羅界の一番外側に配置されているのが、人間界に最も近い天部の神々で、全てを悟り人間を超越した仏様と違い、嫉妬を抱き時には天罰も与える、どこか人間的な要素を持った方々です。ですからお稲荷様や弁天様にはお供えを欠かさず、神楽奉納などを通じてたえず感謝の念を示さないとご加護は得られません。松江城の守護神、城山稲荷の神様が寂しがっていたので出雲郷神社への里帰り接待をしたことが、ほうらんえんやの起源とされていますが、もうお一方、別の神様がその陰にいることにお気づきの人はいますか？

松江から出雲郷への道中、当時の幹線路大橋川を下る途中で嵐に巻き込まれ、お稲荷様があやうく沈没しそうになったのを沿線の住民が総出で救助したことが、ご神体を囲む船団パレードの由来ですが、祭りのメインイベント、権伝馬船の踊りは誰に見てもらうためのパフォーマンスだと思いますか？ 河岸を埋め尽くす観客向けではないことは想像がつきますが、神楽を奉納する対象は城山稲荷のご神体でなく大橋川の神様ではないでしょうか。天部の神様は、稲荷様に代表される地界の神様とともに、天界の神様の二系統があり、後者は弁天様に代表される川の守護神でもあります。弁財尊天は仏教と共に渡来したインダス川の神をルーツとする外国招来の神ですが、日本古来の川の神々も大勢いらっしやいます。天と地の護法の神の共同のご加護があって初めて、豊かな実りと交通の安全が保障されるのです。城山稲荷だけでなく自分のことも忘れるな、と大橋川の神様の嫉妬の怒りが水難事故を起こしたことを当時の人々は認識し、二回目の里帰り神幸祭からは道中の無事故を願って大掛かりな水上神楽を演出したのだと思います。

それでは大橋川の神様のご神体と本籍はどこにあるのでしょうか。おそらく中海、大橋川、宍道湖

の沿岸に位置する、美保関神社や松江の賣布神社など随所に祀られている複数の神々で、ルーツをたどると上流の斐伊川に行きつきます。その源流がおわかりですか？そうです、出雲人なら誰でもご存知の八岐大蛇です。素戔鳴尊の八岐大蛇退治伝説は、ヤマトの武力と技術力による出雲支配と斐伊川治水事業を神話化したものであるとともに、八岐大蛇に象徴される出雲古来の神からヤマト天皇家の守護神、伊勢神宮祭神への改宗神話であるともされています。青銅器文明化から鉄器文明へ、部族社会から中央集権社会へと時代が進化する中で、出雲は日本の首都から今や日本のチベットとも揶揄される鄙地になってしまいましたが、それは出雲の守護神を冷遇した祟りではないでしょうか。

八岐大蛇の斐伊川は氾濫を繰り返した荒川でもあります。国引き神話にたとえられた、米どころの斐川平野を造成し、堀尾吉晴公による松江橋北市街地造成の土木事業にも貢献し、多大な恵みを出雲にもたらした繁栄の源泉であり、その御恩をけっして忘れてはなりません。ヤマトは出雲から国譲りにより日本の支配者になりましたが、出雲は武力では征服できても、守護神の霊力では抗い難い脅威であったのでしょう。大国主命の霊を出雲大社に封じ込め、黄泉の国を穢れた世界と忌避して交流を斜断し、守護神を悪役にみたてて出雲の弱体化をはかったのが、ヤマト創作の記紀神話に隠された真実ではないかと推察します。

日本海軍のフラグシップ、国を守る最大級の軍艦が戦艦大和から護衛艦いずもに変わった今日、時代はどこか出雲の復活を暗示していると感じませんか。今でも石見地方では、幼稚園で神楽を教えているそうです。テレビのインタビューで子供たちに、お神楽の中で何が好き、と聞いたら元気よく「やまたのおろち」と答えていました。これは単なる文化遺産の保護、継承でなく地元守護神の復興です。昨年西日本豪雨でも幸、島根県には大きな被害が出なかったのも、山陽地方と違って人口過疎で宅地の造成が行われていないことだけではなく、天地の神々のご加護の賜物あることを認識すべきでしょう。ほうらんえんやは10年に1度だけ、などと言わず毎年、斐伊川上流の八岐大蛇を祀る神社から美保関神社に至る斐伊川水系の神社総出で、盛大な水神サミットを企画してみたいかがでしょうか。

(2019年8月22日)